安里屋ユンタ

本調子

中 工 七 合四 七 合 七 七 五 工 四 上

中 工 合 工 合 五 工 ○ 四 合四 上 合

中 上 合 工 合 乙 四 中 上、中 老 四 ○

サ ー キ ミ ハ ノ ナ カ ノ イバ

四 合 上 合 中 工 中 合 上 合 四 合

ラ ノ ハ ナ カ サ ー ユ イ

上 中 工 合 工 五 工 合 工 合 五 合

ユ イ ク レ テ カエ レ バ ヤレ

五 合 工 合 五 七 五 合 工 中 上 合

ホ ニ ヒキ ト メ ル マ タ ハ ー

中 五 工 合 中 上 四 ○ 合 四 上 合

リ ヌ チン ダ ラ カ ヌ シャ マ ヨ

中 上 合 工 合 乙 四 中 上、中 老 四 合

一、サー君は野中のいばらの花か
　サーユイユイ
　暮れて帰ればやれほにひきとめる
　マタハーリヌチンダラカヌシャマヨ

二、サー嬉し恥ずかし浮名を立てて
　サーユイユイ
　主は白百合やれほにままならぬ
　マタハーリヌチンラダカヌシャマヨ

三、サー田草取るなら十六夜月よ
　サーユイユイ
　二人で気がねにやれほに水入らず
　マタハーリヌチンラダカヌシャマヨ

四、サー染めて上げましょ紺地の小袖
　サーユイユイ
　掛けておくれよ情けのたすき
　マタハーリヌチンラダカヌシャマヨ